

◆自由投稿コーナー◆

みんなの広場

印象に残る夢を伝えたい

人形劇団ピッコロ代表

村岡千鶴子

「観てくださる皆さんに、印象に残る夢を伝えたい」そんな思いを会員全員が持ち、日々活動をしています。

現在、会員数は6人(すべて女性)、平成2年の活動開始以来、幼稚園や小学校での公演、老人会への慰問活動など多方面に活動の場を広げ、年間20から30回程度の公演を行っています。

人形劇に使われる大道具や登場する人形は、すべて会員の手作りです。そして、舞台セットの配送や照明器具類の設置などもすべて会員が行っているため、1人でも欠けてしまうことがないように、会員各自が健康管理に努めています。

人形劇の中では、観客の皆さんと掛け合いをしたり、劇の終了後には人形とともに観客席に伺って、握手をしたり人形に触れてもらったりして観客の皆さん



んとコミュニケーションを図っています。多くの方々の出会いやふれあい、そして皆さんからいただく大きな拍手やお褒めの言葉が私たちの活動の励みとなっています。時には、公演後に子どもたちから時々ファンレターをいただくこともあり、大きな励みに繋がりが大変うれしく思っています。

現在、ピッコロでは、活動メンバーを募集しています。少人数による活動のため、舞台セットの搬入搬出・道具の配送をお手伝いくださる方・人形作りなど裏方の仕事をしていただける方も募集しています。活動は、毎週月・金曜日の午前10時から午後3時、身体障害者福祉センターやすらぎで行っています。興味のある方は、ぜひ、ご連絡をお待ちしています。

連絡先 村岡 995・8164

思いのつまった作品が勢揃い



11月14日から19日まで、やしお生涯学習館で「第23回なかよし作品展」が開催されました。

「なかよし作品展」では、八潮市内の小中学校の特別支援学級の児童生徒と三郷特別支援学校の生徒が日常の学習活動で制作した作品を、毎年、展示しています。今年度は、子どもたちが時間をかけて一生懸命に制作した作品が、例年以上にたくさん揃いました。学校ごとにアイデアやテーマが違って、それぞれ思いのつまった作品に見学している人は感心していました。

災害時における協定を締結



11月10日、災害ボランティアバイクネットワーク関東埼玉支部と「災害時における医薬品輸送等に関する協定」を締結しました。

調印式では、医薬品等の小型物資の輸送や被害状況等の情報収集の実施方法について確認しました。また、災害発生時には、道路等の損壊による交通状況の悪化が想定されるため、バイクの機動性を生かした活動が期待されます。

みんなにとどけ 私のメッセージ



子どもたちが日ごろ考えたり、感じたりしたことを発表する「第19回青少年の主張大会」が11月14日に八潮メセナで開催されました。

市内の各学校から小学生・中学生・高校生の部に合計18名の参加があり、児童・生徒は大きな声で堂々と発表し、それぞれの思いや訴えを会場いっぱい伝えていました。

最優秀賞の受賞者は、次のとおりです。

- 【最優秀賞】(敬称略)
- 小学生の部 大曾根小学校 藤波 毅「笑顔の魔法」
- 中学生の部 八幡中学校 大川航貴「差別のない社会へ」
- 高校生の部 八潮高校 桐原ひとみ「掃除道って知ってますか」

家づくりからはじまる街並みづくり



11月22日、やしお生涯学習館で八潮街並みづくり100年運動実行委員会により「第3回まちづくりフォーラム」が開催されました。

フォーラムでは、八潮らしい街並みづくりに向けた調査研究を昨年から進めてきた5大学(茨城・神奈川・信州・東北工業・日本工業)の学生から、市内の地域の特性を生かした住宅モデルが発表されました。その後、5大学の先生により、八潮の特徴と住宅モデルの取り組みについてパネルディスカッションが行われました。

また、参加者との意見交換も行われ、将来のまちづくりについて、それぞれの想いを熱心に語っていました。

いきいきやしお写真館

この広報紙は、再生紙と大豆インクを使用しています。

◆広報やしおは、毎月1回、10日(新聞休刊日を除く)に新聞折り込みで配布しています。届いてない世帯の方は、最寄りの公共施設、金融機関、市内10カ所のコンビニエンスストア、八潮駅などでお受け取りになれます。なお、次回の新聞折り込みは、1月10日(日)です。